

明正音頭 昭和三十年に、何かみんなで楽しめる歌がほしいという意見が出て、明正音頭ができました。作詞は朝倉徹先生、作曲は江原博次先生です。八月八日には、この歌の発表会がありました。

明正音頭

作 徹 朝倉

一ハ

花の踊り子おどろきなほよ

(ソレ)

うたいはやして

うたいはやして輪になぞ

サテヨイヨイヨイトナ

(はやくりかえし)

四ハ

幼な馴染の銀杏の木よりヨ

(ソレ)

高いのぞみが

高いのぞみが胸にある

七ハ

江戸の頃から続いたのれんヨ

(ソレ)

酒の新川

酒の新川問屋町

二ハ

橋は九つ七つの町にヨ

(ソレ)

潮のかおりの

潮のかおりの風が吹く

五ハ

昔福井の殿様屋敷よ

(ソレ)

今じゃ名ばかり

今じゃ名ばかり夢ばかり

八ハ

おしゃれ鴉は永代橋でヨ

(ソレ)

ネオンながめて

ネオンながめて夕涼み

三ハ

富士を仰ぎますくすくす仰ぎヨ

(ソレ)

いつも心は

いつも心は隅田川

六ハ

残る思い出霊岸島はヨ

(ソレ)

花の航路の

花の航路の船つき場

九ハ

明正音頭で陽気におどろヨ

(ソレ)

月も浮かれて

月も浮かれて顔を出す